| | |
|---|---|
| 事例No. | 2636 |
| 公表年度 | R5 |
| 団体の属性 | その他 |
| 団体名 | 南部裂織保存会 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 地域活性化 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・関係人口<br>・地域運営組織<br>・観光 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 関係人口 |

事例内容・タイトル

南部裂織保存会

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

# 南部裂織保存会

青森県十和田市

## 概　　要

十和田市を含む青森県南部地域（東部）では、寒冷な気候のため綿の生産に不向きであったことから、古くから用途を終えた布を裂いて得られる糸を織物にする「裂織」が行われてきた。しかしながら戦後、暮らしが豊かになるにつれて「裂織」はしだいに廃れていき地域での伝承が危ぶまれる状況に陥った。このような状況を憂いふるさとの伝統文化を次世代に引き継ぐため設立されたのが、南部裂織保存会である。保存会では、民家等に埋もれていた織機の収集・保全に努めつつ、人から人へ世代から世代に先人から受け継いだ技術を伝えると共に活動を通じて作り上げた裂織作品を価値ある地場産品として販売しているほか裂織を観光客向けの体験メニューとして提供するなど地域の活性化にも貢献している。



## 評価された点



・伝統工芸品の保存継承を、自主財源のみで40年間運営し、体験メニュー参加者を着実に増やし、1,300万円の収益に結びつけている点を評価。
・発足以降40年以上に渡り、地域の伝統文化「裂織」を活かした地域づくりの事例である。文化の継承・観光発信に取り組んでおり、裂織教室や観光客向けの体験の参加者の収益を運営事業にあて、全額自主財源で賄っている点が評価できる。
・余ったきれなどを生かした裂織文化を受け継ぐだけでなく、観光交流、人材育成と発展させ、販売が1,000万円をこえ、成果を上げている。
・「裂織」は、使用済みの布を再利用する地域の生活文化であると同時に、芸術性のある伝統工芸でもある。南部裂織保存会は、物質的に豊かな現在において、モノを大切にする精神や古くから伝わる技術を、子ども達の体験学習を通して次世代に伝承する活動を展開している。さらに、このことを情報発信することで観光客を誘致や伝統文化とインバウンドを結び付けた事業を進めており、ふるさと創りのモデルとして評価される。
・地域の伝統技術を観光交流人口を増やしながら住民主体で継続している事例。
地域の伝統技術の保存伝承、次世代を担う人材育成、観光客向けの体験メニュー、商品販売など、長年にわたって活動している点はふるさとへの強い思いが地域の人々にあったことを物語る。また、その活動が行政に依存せず、全額自主財源でまかなわれていることは秀逸である。昔からの伝統が、新しい観光メニューとしても活用されている当該地域ならではの取組みは住民の誇りを醸成するとともに伝統技術を活かした新たな地域観光経済に貢献しているものとして表彰し紹介したい。
・半年以上、雪・風に囲まれる地域において、「手技、手仕事」は重要な地域コミュニティの中の言語であるとも言える。地域の人と人が語り合うための言語活動でもある。観光コンテンツとしてもレベルの高い評価を集めている。